

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	令和3年度 第3回姫路市観光戦略推進会議
2 開催日時	令和3年11月18日（木曜日） 13時00分～14時50分
3 開催場所	イーグレひめじ 4階 第1・2会議室
4 出席者又は欠席者名	（出席者）姫路市観光戦略推進会議 委員9人 （事務局）観光課、姫路観光コンベンションビューロー
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 傍聴人（2人）
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告事項 令和3年度第2回姫路市観光戦略推進会議委員発言要旨について 3 協議事項 姫路市観光戦略プラン案について 4 その他 これからの観光の取り組みについて 5 事務連絡 姫路市観光戦略プラン案の市民意見の募集（パブリック・コメントの実施）について 6 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	議事要点については別紙参照

座長	<p>1 開会（13：00）</p> <p>座長挨拶、第3回会議開催主旨説明</p>
事務局	<p>2 報告事項（13：05）</p> <p>【説明】 令和3年度第2回姫路市観光戦略推進会議委員発言要旨について</p>
事務局	<p>3 協議事項（13：20）</p> <p>【説明】 姫路市観光戦略プラン案について</p>
座長	<p>ご質問、ご意見等があれば、自由にご発言をお願いしたい。</p>
委員	<p>姫路市にとって何が観光コンテンツなのか。姫路城を否定するつもりはないが、姫路城一辺倒でよいのかなど、今一度整理するべきではないか。</p>
委員	<p>確かに、姫路市にとって何が観光コンテンツなのかとの点がフワッとしている。戦略だから良いとも思うが、私自身は、各年で戦術（テーマ）を決めると思っている。各年の戦術を決めるにあたり、現場に立っている者も参画する形で一緒に作っていければと思う。2023 兵庫デスティネーションキャンペーン開催にあたっては、「テロワール」をテーマに進めている。姫路もテーマを決めれば、1年間集中的にプロモーションや観光資源の磨き上げに力を入れることができるのではないか。</p>
委員	<p>例えば、地酒にしても、姫路城マラソンにしても、名物にしようとの気持ちが一番大事であり、そこにはもちろん、ストーリーが存在する。ストーリーとコンテンポラリーの交差点に観光のポイントがある。</p> <p>また、東京の人が本当に一生の間に一度姫路城を見たいと思っているか、自問自答してみれば良いと思う。本当にこの街のアピールポイントは何か、一言で表したら何なのかをもう一度整理しなければならない。姫路城でも天空の白鷺のように、今しかない、一生の間に見ないと損だと思える要素を、意識したうえで発見することが必要ではないか。</p>

委員	<p>姫路城を主とした観光戦略も非常に大切かと思うが、今後5年、10年先を考える時には、姫路城以外の魅力を最大限に、この5年間で作っていく動きを主にやることも一つではないか。時間を費やすかもしれないが、姫路と言えど何か、どうしてもこれを食べて帰らないといけないとの戦略を5年、10年かけて作ることが必要ではないか。</p>
委員	<p>近隣市町在住者でさえ、姫路イコール姫路城の印象をもつ中、外国人からすると、外観的に同じに見える大阪城と何が違うのか。歴史的な違いは重々理解しているが、近隣にある大阪城と姫路城があればどちらに行くのか。姫路に足を運んでもらうには、地酒が飲めるなどのプラスアルファのイメージを見つけないと難しいのではないか。</p>
委員	<p>DMOのあり方について、姫路市が主導しながら、戦略やプロセス、ルールに沿って、姫路観光コンベンションビューローと連携し、観光振興に繋げてほしい。また、良くまとまっている素案ではあるが、姫路の観光の5年後の将来像として、“また来てみたい、住んでみたい、と感じるまち姫路”の方が良いのではないか。</p>
委員	<p>昔、姫路の商店街には、日本一を有する店舗が2つあったように、商店街の中に、売りとなる店舗があれば、観光につながるのではないか。また、商業者の代表として会議に参加していると思うが、商店街自体は、多くの方にお越しいただいてこそ商売が成り立つため、受け身なところがある。</p>
委員	<p>商店街をはじめ、商業者や企業は、観光需要の変化に応じて、業態等を変えていくものである。また、企業の経営計画にも沿うが、観光経営の観点から、強みを伸ばすか弱みをなくすかとあるが、強みの一つである姫路城を伸ばすだけ伸ばす方法もある。やり方の違いであり、強みを伸ばすことも、一つの方法だと思う。</p>
委員	<p>旅行に行くことで、心が元気になることが観光では大事であり、その点、素案の中のキャッチコピーに感動という言葉が入っている点は良い。観光で一番大事なところは、観光客向けの施設やモノではなく、地元の人々が利用する生活文化に非常に根付いた点である。地元の文化や人々に触れて感動する、また、少し元気をもらって帰るようなところだと思われるため、そのあたりをしっかりと忘れないでいただきたい。</p> <p>また、素案中、お土産の記載は観光客向けの文言であるため、できれば特産品に改め、いわゆる地元の人々がいつも食べているもの、あるいは愛しているものとしてアピールすることで、観光だけではなく、国際取引や国内の経済的取引に繋がるよう</p>

	<p>ランに反映いただきたい。</p> <p>その他、アンケートを見ると、中高年層の観光への参画・協力意識が少し薄いところ。若年層は、学校教育の中で旅行プランの作成・企画などの経験があるため、若年層の参画や学校教育の中にさりげなく観光の大事さを入れていくのも良いのではないか。</p>
座長	<p>本日欠席の委員より文書で意見をいただいているため、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>姫路市における観光の意義について、若年人口の流出による実態と将来像、特に中心部から離れた周辺地域の衰退などきちんと記載したうえで、観光の必要性を説くべきであり、また、文章の整理も必要ではないか。</p> <p>第4章戦略1に関し、姫路城周辺の施設に関しても、文化的価値の高い観光資源として言及すべきではないか。</p> <p>戦略3に関し、姫路市の観光増を考える場合、来訪者がまた来たいと思える播磨地域を含むガイドブックあるいはデジタルコンテンツがほしい。また、国内外のリピーターを増やすには、文化的価値の高いイベントを創出する必要があるのではないか。他団体・団体との連携では、神戸市や豊岡市とも連携するなど、県内の広域連携を推進してはどうか。</p> <p>その他、播磨地域は、伝統産業から食品、重厚長大産業までものづくり企業の集積、奥深さが特徴であると思われるため、観光として、ものづくりや地元企業への愛着を醸成するきっかけにもチャレンジしてほしい。</p>
委員	<p>例えば、歴史や食、地酒、お祭りなど、テーマ別に毎年選出するなど、姫路の名物を作るべきで、名物づくりをコンテストするなど、一つの展望があっても良いのではないか。</p> <p>また、姫路に宿泊していただき、赤穂やたつの、佐用、福崎、明石など足を伸ばすこともできるため、姫路をハブに広域連携を構想すれば良いのではないか。</p> <p>その他、DMOに関し、姫路市と一緒に、宿泊業界や交通事業者などで委員会を組織し、活動していくのも一つの方法ではないか。</p>
委員	<p>観桜会や観月会をはじめ、灘のけんか祭りなど、体験型のセールスをもっと実施すれば良いと思う。また、ナイトライフをどのように展開するかという視点が、今回の戦略の中から抜けているのではないか。もう一つの切り口として、ブロードウェイのような同業者がずらりと並ぶことにより、人は行ってみたくなくなるのではないか。本来</p>

委員	<p>は自然発生するものであるが、少し背中を押してあげることも必要ではないか。</p> <p>その他、姫路を観光してどこで市民と触れ合う場があるのかなど、他人からの目で、この町の動線を見直すことも検討した方が良いのではないか。</p> <p>姫路の祭りは観光のコンテンツとして魅力的であるが、地元の方と一緒にではないと行きづらい感じがする。また、祭りやイベントの情報があまり周辺地域にも届いていないため、PRすることで、宿泊まで至らずとも、夜間まで滞在する観光客が増えるのではないか。</p>
委員	<p>観光客は、地元の方が大切にしている行事やイベント、伝統などに興味を持ち、行ってみたいと思うが、足が向かないのは、排他的な雰囲気や居心地を感じているからではないか。地域の人々の観光客を受け入れる体制も観光資源の一つとして、もっとここに居たいと思わせる雰囲気を醸し出すことも大切なのではないか。</p>
委員	<p>商店街に出店する理由として、この町は、イベントが多く、人通りがあるためとの声を聞くが、地元の方もいる中、イベントや観光客の需要に偏ることは、町として問題ではないか。また、祭りを実施しているものからすれば、観光との意識は乏しいのではないか。以前開催していた、三の丸広場に地元の屋台が参加するイベントを実施することができれば良いのではないか。</p>
委員	<p>地元の屋台が参加するイベントに関し、神事は神事、観光は観光と分けることができれば良いのではないか。</p> <p>また、沖縄では、公設市場に行き、魚を購入したらその場で捌いてもらい、食事ができる施設がある。その場で食べて面白かったという体験を持ち帰れるような場があれば良い。その点、姫路は、分業制で体験に結びついていないため、少し背中を押してあげれば良いのではないか。</p>
委員	<p>秋祭りを目的に宿泊する方もいる中、10月は各地で祭りが開催されており、栈敷だけではなく、歩くだけでも十分雰囲気を感ずることができることから、戦術として、祭りをテーマの一つとしてはどうか。</p>
委員	<p>地域の受入体制やおもてなしが重要であることは理解しているが、観光客にとって、様々な旅行の方法があり、祭りなどでの排他的な面も含め、地域の特徴や風などを感ずたい観光客もいるのではないか。</p>

委員	<p>祭りを旅行商品化するためには、長い時間がかかり、また、地元の方の協力が不可欠である。</p> <p>また、テーマを作り、効果的なプロモーションを展開することで、市外の方に姫路の魅力に気付いてもらうことが大切である。</p>
座長	<p>行政の立場として、どのように地元と観光客を取り持つ施策を展開しているか聞きたい。</p>
事務局	<p>多くの課題がある中、どのような施策が効果的であるか日々検討する中、本日いただいた意見を誰がどのように実行していくか具体的に考えたい。また、プロモーションに関しては、コンベンションビューローとも連携しながら、一過性ではなく、強い意思のもと、継続して実施していくことが大切であると思っている。</p>
	<p>4 その他（14：36）</p>
事務局	<p>【説明】</p> <p>これからの観光の取り組みについて</p>
座長	<p>今回の協議事項以外に検討すべき点や補足などあれば伺いたい。</p>
委員	<p>1年ごとのテーマではなく、月ごとにテーマを設定し、その時期や季節にしか体験することができない機会を増やすことが重要ではないか。また、時の流れとともに磨き上げていくことも重要ではないか。</p> <p>また、新聞やテレビではなく、インターネットやSNSなどのデジタル技術を活用して、体験した人自身が発信したくなるようなマーケティングやプロモーション、キャンペーンなどが必要である。姫路で今何が注目されているかということに対し、もっとアンテナを立てた方が良いのではないか。</p> <p>ほとんどの情報をスマートフォンから得ている若者などに向け、日々新しいことを発信するなど、姫路を知ることが世の中の流行の先頭を走るといような信号を送ることができればと思う。若年層に姫路で何に興味を示すのか聞いてみるのも良いのではないか。</p>
委員	<p>インターネットやデータ分析を行い、インフルエンサーを活用するなど、デジタル戦略を展開することは重要だ。また、兵庫デスティネーションキャンペーンを活用し、</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>広域観光連携を実施してほしい。</p> <p>最後に、素案に記載されている数値目標の宿泊者数と稼働率のデータ参照先はどこか。</p> <p>姫路経済研究所（姫路商工会議所）の宿泊統計を使用している。</p> <p>姫路市は、国内でも有数の工業都市である点を観光戦略の一つとして加えてほしい。また、姫路を中心に豊岡や城崎まで行くような広域観光も必要かと思われるため、各都市との連携を進めてほしい。</p> <p>5 事務連絡（14：47）</p> <p>6 閉会（14：50）</p>
----------------------	--